

支援の質とアカウンタビリティ向上 計画案 2015年度－2017年度(2015年7月24日総会后)

2015年8月10日付

事業分野		3年後達成目標	1年目	2年目	3年目
日本のリーダーシップの発揮	認証制度の設計・運営への参画	アジア地域も含め、世界各地からバランスの良いインプットのされた制度が運用されている	認証制度管理団体 (Humanitarian Quality Assurance Initiative) への参加	認証制度管理団体 ((Humanitarian Quality Assurance Initiative) への参加	制度のレビューへの参加
	認証制度を通じた質とアカウンタビリティ向上への貢献	CHS International Alliance理事会に日本のNGOセクターから参加している	CHSInternational Allianceへの参加、人選	2016年5月世界人道サミットへの出席 (イスタンブール)	
		日本に20件の認証団体がある	認証制度 (パイロット版) への参加		
	研究・開発	国際社会にある関連する各種スタンダードの比較研究をし、日本独自のスタンダードのそれらとの関係性やあり方を検討している		外部資金の活用も念頭に他国、特に米国内でのスタンダードに関する状況把握や日本のスタンダード (例: ASC) の研究を行う。	
広める	CHSの翻訳と教材作成	翻訳文書と教材 (モジュールや説明資料) を利用した研修が開催されている	翻訳完成 教材開発①	教材開発②	
	CHSを含む諸原則、基準類の研修や普及セミナーの開催	NGOを中心とした支援実務者にとっての基本知識となっている。	研修開催 (年4回程度)	研修開催 (年4回程度)	研修開催 (年4回程度)
		外務省、JICA他の関係者への普及。共同学習の実現。	CHS進捗の報告および、研修開催時の共催や参加枠の提供。	上記開催時の共催や参加枠の提供。	上記開催時の共催や参加枠の提供。
人財育成	教授・指導能力の高い人財の育成	日本およびアジア地域で研修講師を務めている	日本でのトレーナー養成研修 (6日間) の開催を通じた日本人人員の人数の増加 (定員20名)	トレーナー人員のブラッシュアップ研修①	トレーナー人員のブラッシュアップ研修②
			トレーナー養成研修において日本人が指導チームに参加し、メイン・トレーナーとなるための研鑽を積む	日本のNGOがCHS認証を受ける際のコンサルティング支援	日本のNGOがCHS認証を受ける際のコンサルティング支援
			アジア地域からの参加者 (5名) を招聘する	日本人メイン・トレーナーがアジア地域での研修をアジアのトレーナーと開催する	日本人メイン・トレーナーがアジア地域での研修をアジアのトレーナーと開催する
モニタリング			進捗調査 (基準導入状況)	進捗調査 (認証制度運用状況)	進捗調査 (認証制度運用状況)
財務基盤計画	ネットワークとしての財務基盤確立を目指す	支出の〇%を助成金以外で確保している	財務基盤について検討するチーム立上げ プラン作り、方向性確定	プランの実施、進捗確認	プランの実施、進捗確認